

DAIDO CAMPUS

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

2000.1.7 No.31

編集・発行 大同工業大学社会交流センター

〒457-8530 名古屋市南区滝春町 10-3

TEL 052-612-6193

No.31



滝春校舎 (画/堀井 憲爾 氏)

CONTENTS

特集 新春メッセージ

2000年の君たちへ 澤岡学長

TOPICS

ハギア・ソフィア大聖堂の学術調査に参加 藤原義典君
「大宮児童館」設計コンペ 内藤孔明君が銀賞
第3回ロボットグランプリ
成瀬・長尾君のロボットがまぼろしのグランプリ

国際交流

RWTHの交換留学生の印象記
海外留学 建設工学科 大東憲二助教授

研究室を訪ねて

数学教室 瀬川重男教授

アンテナ

後援会だより
富山杯争奪ソフトボール大会
機械工学科選抜チームが優勝

キャンパスライフ

漕艇部 なごやレガッタ
塩見さんシングルスカルV
空手道部 三重県大学・高専空手選手権大会
個人種目で森田さんV
クラブ紹介 「将棋部」
桃介を訪ねて(7)
ゴビーの散歩道
アーヘン工科大学で特別講義
建設工学科 佐藤達生教授

INFORMATION

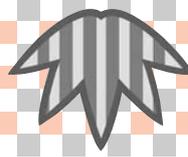
季刊

大同工大キャンパス

2000

新春号 JANUARY

1



2000年の君たちへ

学長 澤岡 昭

2000年は20世紀清算の年

2000年は新しい世紀の始まりのように思いますが、21世紀は2001年から始まります。ですから、今年が正真正銘の世紀末なのです。ミレニアム(千年紀)などといって浮かれています。1990年代の日本はバブル経済崩壊によって、本当に苦悩の10年でした。暗い話は、今年を最後にして希望の21世紀を迎えたいものです。

この10年間、君たちは激動の社会の中で育ってきましたね。高度成長の中で、経済成長世界一の日本を謳歌した時代を経験したことのある私にとって、申し訳ない気持ちがいづも心の隅にあることを告白しておきましょう。でも大学に籍をおく人間にとって、高度成長の恩恵はほとんどなかったことも事実です。

これから述べることは、この10年間を清算して、正真正銘の21世紀に向かって進む大同工業大学の中間報告と、一教師として私が日ごろ考えていることの一部です。君たちの感想や意見を聞かせて下さい。電子メール(sawaoka@daido-it.ac.jp)を歓迎しますが、自宅のFAX(052-957-4852)も利用して下さい。

キミと一緒に変わろう

「キミと一緒に変わろう!!」と書いたポスターが学内に沢山貼られています。憶えがありますか。そう、例のポスターです。何が変わるのかの代表例として、「新キャンパスの建設」と「フルタイムオープン」のことが書かれています。新キャンパス建設は滝春グラウンド一杯に進んでおり、急ピッチで工事が進んでいるので、よくご存知と思います。新講義棟は今年9月に完成し、本部棟はじめ、大型実験棟も今年中に完成します。

建物の建設ははっきり目に見えますが、フルタイムオープンの方はどうなっているのでしょうか。フルタイムオープンとは昼でも夜でも、授業が受けられることです。夜間主コースが始まって2年間が経過しようとしています。夜間主コースの学生諸君は、昼の授業を50単位分しかとることができませんので、それでは完全なフルタイムとは云えません。夜間主コースの諸君からは、早く50単位制限を外してほしいとの要望を聞き、なんとかしたいと努力してきました。

2001年度からは夜間主と昼間主コースとの区別をなくすることを計画しています。それでは、今の夜間主コースの学生はどうなるのでしょうか。

夜間主コースには職業をもった社会人ともっていない学生が在籍しています。残念ながら夜間にしか授業にでることができない社会人には、どうすることもできません。昼間に授業に出ることができる夜間主コースの学生諸君には、春からの新学期に、落とした単位の再履修を昼間に行う仕組みを検討中です。私はキミたちの立場にたつて、沢山の単位がとれる方法を探しています。今は50単位制限がありますが、この制度を精一杯利用して昼の50単位を早く消化して下さい。その頃には次の道が開かれることを期待して下さい。

200年から変わる学科の名前

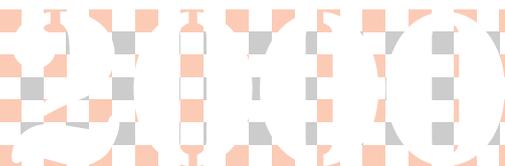
大同工業大学(DIT)は大学の創立から35年が過ぎました。どちらかと言うとDITは工業そのもののイメージの強い大学です。高度成長時代のわが国にとっては、工業大学は貴重な存在でした。黙っていても沢山の志願者がありました。現在はどうか。わが国にとって、工業の重要性は変わらないはずなのに、驚くほど流れは大きく変わりました。工業のイメージが強いほど、若い世代から敬遠される傾向があるのです。好むと好まないとにかかわらず、新しい流れに乗ることも大切なことです。

DITは2000年度から実質的に学科の中身を変え、2001年度には学科の分割を行ったり、名称を変えることにしました。しかし、その手続きは大変です。文部省の認可が必要だからなのです。認可申請はまだなので、これから紹介する名前は全て仮称ということにしましょう。

大所帯の機械工学科は本家の機械工学科と分家の情報機械システム工学科に分かれる計画です。電気工学科は電気電子工学科、応用電子工学科は電子情報工学科に変わる計画です。建設工学科の土木工学専攻は社会環境デザイン学科、建築学専攻は建築学科の予定です。2001年の4月には新学科がスタートすることでしょう。皆さんには決まり次第お知らせしたいと思います。このように、学科の名前を変えたり、中身を変えることを「改組(かいそ)」とよんでいます。組織を改良するという意味です。

DITは何を目指すのか

大同工業大学は2001年から、「伝統的な工学から、人間と社会との係わりを強く意識した工学の教育と研究の場」に転換することを決心しま





した。今までの大同工業大学はハード(硬い)志向の大学でした。2世紀の我が国の産業や社会はソフト(柔らかい)志向へと変わりつつあります。しかし、それだけでは日本は成り立ちません。資源の乏しいわが国は工業製品の製造で成り立っているからです。ハードとソフトの適度の組合せが大切なのです。今まで以上にエンジニアにも豊かな教養が必要なのです。

2世紀の産業をリードするのは情報産業であると言われていました。情報は工業製品と異なり、姿が見えるものではありません。ソフト工学の代表的なものと云ってよいでしょう。情報に強い機械や電気エンジニアを育てることが大同工業大学の新しい使命です。

建設工学科はもっとも社会と密着した分野です。環境を強く意識した土木工学、もっとも人間の営みや美を意識した建築学は今まで以上に、社会科学や社会学と一体化しなければいけません。学科改組はこのために行うのです。

学科改組は来年ですが、今年の春から新しいカリキュラムの授業が始まります。それは新入生の授業に適用されるものですが、教育方針は全ての学年の授業に取り入れられるはずで、期待して下さい。

キミはいかに大学生活を過ごすべきか

人はそれぞれの生き方があると思います。だから、こうでなければならぬと云う決まりはありません。自分はこう生きたい、こんな大学生活を送りたいと決心している人には、「思う存分やりたいことをやりなさい」と云いましょう。でも一つだけ注文があります。ほとんどの人はいつか、「学生時代にもっと勉強しておけば良かった」と云います。就職してからの生活は本当に忙しく、ゆっくり勉強したり、本を読んだりする時間は全くないと思ってください。まとまった時間は今しかないのです。

部活も必要なことですし、友人との付き合いも大切なことだと思います。それにも増して君たちに一番大切なことは、教養を豊かにする何かに夢中になることです。

私はいつも真剣に宇宙飛行士になることを考えてきました。今でも、宇宙ステーションの仕事を学長のかたわら続けています。先日、DIT同窓会主催の講演会で宇宙の話をしました。学生の一人から、「宇宙飛行士になるには何が必要か」との質問がありました。「技術系の専門家であることと、健康なことの他に、教養があることが意外に大切である」と答えました。宇宙の仕事で外国出張の時、必ずパーティがあります。大した食べ物はありませんが、会話がご馳走なのです。その時同伴者の友人との会話が後で役にたつことが良くあります。

ある時、ワシントンのNASA本部への出張の時、レセプションでワインを飲みながら、数人のご婦人の輪の中に入り、武士の腹切りの本当の意味とその作法について、苦勞しながら英語で説明したことがありました。それを聞いたご婦人が、後で旦那に話したのでしょう。次のパーティで私が主役でした。それから仕事がとてもやりやすくなったのです。仕

事以外に何か、直接役に立たない知識を身につけることは大切なことです。それが教養なのです。

キミは何に興味ありますか。面白いと思ったことは徹底的にのめりこむことです。もちろんそれが勉強であつたら申し分ないのですが、勉強である必要はありません。

勉強ができるとか、できないとか、これは何だろうか。

私を変えた登校拒否

ここで自分自身の悲しかった経験をお話ししましょう。小学校5年生のころから、良く頭が痛くなりました。医者はどこも悪くないと云うのです。6年生が近づいた頃になると、朝起きると頭が痛くなるのです。学校を休み、9時頃を過ぎると頭の痛みは止まるのでした。母親は学校へ行かなくても良い、家に居て良いと云い、学校へ休学届けを出しました。

話し相手のいない毎日でした。テレビのない時代でした。雑誌や本を読んだり、犬や猫と遊んだり、模型を作って過ごす1年間でした。どうも、一人でものを考える習慣がついたのはこの1年間であつたような気がします。自分で勉強することも一人で覚えました。

1年遅れて、6年生になり、1年遅れの新しいクラスでの成績は最後尾のグループから真ん中くらいに上がったようです。そして、自分のやりかたで成績はどんどん上がってきました。

中学では相当上位、高校はクラブ活動と生徒会に打ち込み下位のグループ、大学1年で留年と安定しない10代でした。でも、一度自分流の勉強方法を会得した後は、成績とはこんなものだと分かつたような気持ちで過ごすことができました。いまでもそうですが、私は目的がはっきりするまでは、ファイトが沸きません。目標が定まるとパワーがでてくるのです。

私のやり方を君たちに押しつけるつもりはありません。でも、一つだけ云いたいことは、学校の成績ほど当てにならないものはないと云うことです。あるレベルの学力に到達する速度が速い人、遅い人様々です。今までは早い人が優れていると評価される社会でした。そんなやり方では、我が国は国際競争に勝てないことがはっきりしてきました。

それぞれの個性をじっくり見極めて、学生の能力を最大限に引き出す教育が必要なのです。私は小学校の時、登校拒否症で休学してかえって良かったと思います。母親が偉かったと感謝しています。人生には遅いと云うことはありません。とにかく、自分のことを一人で考えることです。その後で、友人、先輩、親兄弟、先生と話し、そして又、一人で考えることです。

私はいつでも君の話し相手になりますが、ゆっくり会える時間がありません。是非メールを利用して下さい。個人のパソコンがなくても、大学には共同の設備があります。DITの学生はパソコンを使えることが絶対に必要です。使ったことのないキミは直ぐに練習して、第1回目のメールを私に送って下さい。



平成11年度の就職状況と 3年次生就職担当教員からの アドバイス

就職指導部長 井上茂樹 教授

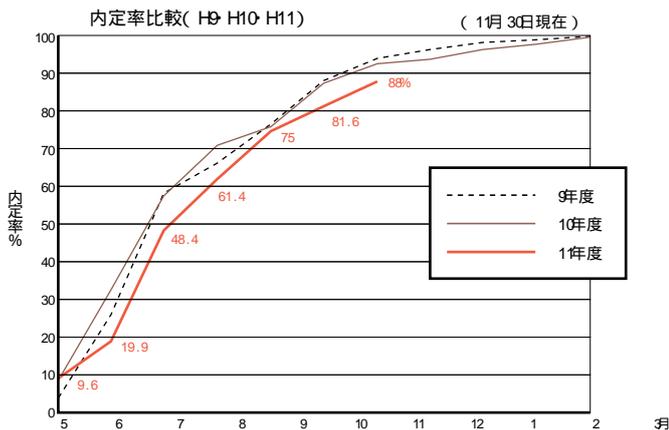


井上茂樹 教授

今年の就職戦線で未だ内定をもらえない人が多くあります。その人達は就職活動が遅れたためです。就職は活動のタイミングが重要です。平成12年度の就職戦線は10月にスタートしました。来年も未だかつて無い厳しい就職戦線となることは確実で、来年4月から活動を始めたのでは手遅れになります。大半の企業は夏休み前に採用者を決定します。3月までに自己分析と企業研究を済ませ4月からは最後のダッシュの時期です。手遅れにならぬよう取り組んで下さい。

1. 就職内定状況

厳しい経済状況下において、本学の就職内定率は88%と高く、近隣工科大学の就職内定率を今年も上回って推移している。これは、本学卒業生の就職先での活躍が評価されていることが大きな要因である。不況下においても、就職内定率の高い大学のキャッチフレーズを来年も高く掲げることができるよう、未内定の学生には頑張ってもらいたい。



2. 平成2年度(現3年次生)就職スケジュール

3年次生は2月から企業訪問スタート

就職試験の最大の難関は面接です。希望する会社に早く合格するには1回でも多く面接試験を受けて面接に慣れることが重要です。

12年度は、11年度より更に求人数が減ることが予想され3回程度で合格しないと良い会社には入れないのではと思います。このため、2月に2社程度訪問をして面接なれをしておきましょう。

平成12年度就職指導スケジュール大綱

年 月 日	内 容
1月14日(金)	就職エントリー試験(エントリーシート提出)
1月24日(月)~26日(水)	大学院生ガイダンス
1月31日(月)	2年次生ガイダンス
2月 1日(火)~7日(月)	第3回就職ガイダンス(最終進路調査、就職諸手續)
2月 8日(火)~10日(木)	就職作文試験(論作文添削指導)
2月14日(月)~18日(金)	第4回就職ガイダンス(希望職種等記入指導、個人面談)
2月23日(水)	企業説明会(3年生対象)
2月24日(木)~3月1日(水)	能力試験対策講座 - 希望者対象
3月 2日(木)~9日(木)	公務員試験対策講座(後期) - 希望者対象
3月15日(水)~31日(金)	面接対策講座 - 希望者対象
4月 3日(月)~7日(金)	第5回就職ガイダンス
7月 3日(月)	第6回就職ガイダンス
7月28日(金)	企業説明会
8月 1日(火)~25日(金)	初級シスアド試験対策講座 - 希望者対象
8月16日(水)~28日(月)	公務員試験対策講座(前期) - 希望者対象
8月29日(火)~9月18日(月)	第2種情報処理試験対策講座 - 希望者対象

3. 就職担当教員から就職一口アドバイス

機械工学科 土田 豊教授・山田廣也教授
「学部の勉強はテーブルコダだ」と言った人がいます。先生の準備した筋立てを理解し、記憶すると言う意味でしょう。しかし、社会は答の準備されていない世界です。就職活動は、そこへの導入だといえます。就職先は準備されているものでなく、自分の意志と努力で勝取るものだという認識が出发点です。足で行動し両目を大きく開き、企業リストという紙の情報を、生きた情報に変える。この過程に、就職指導部や学科の先生方の助言・指導が生きてくるはずですよ。



土田 豊 教授



山田廣也 教授

電気工学科 中井靖男教授

何事をなすにも、その成果はその人の意志の強さに直接左右されます。“自分はこんな事をしたい”、“こんな人間になりたい”、“こんな企業で活躍したい”とはっきり自覚し、その為に考え、行動し、努力することが第一です。そのようなはっきりとした意志を持ち意欲ある人をどんな企業も求めているのです。



中井靖男 教授

建設工学科 土木工学専攻 水澤富作教授

厳しい就職戦線の幕が切って落とされました。超氷河期の建設業界では、新卒採用の厳しい状況が続いています。また、労働省のデータによると、入社後3年以内で退社する割合が3割に上っています。このような状況下で、就職活動する皆さんへ！



水澤富作 教授

1. 就職は自分の問題であり、他人任せにしない。
2. 就職や人生に対する自分の考えを整理する。
3. 自分の長所・短所を見抜き、やりたい業種を明確にする。
4. 新聞や情報誌に目を通し、社会情勢と建設業界の実状を早くつかむ。
5. 粘り強く、最後まであきらめずに、信念を貫こう。

建設工学科 建築学専攻 五島利兵衛教授

就職を取り巻く環境は依然として改善されず、むしろ昨年よりも悪い状態です。就職協定が廃止されてから各企業の求人活動が早まっている状況です。諸君も出来るだけ早く行動することが不可欠になっています。そのために今度の正月には両親や友人とゆっくり話し合い、自分の進むべき建築の分野：工務店、ハウジング、設計事務所、設備関係等々、また就職希望の地域などを決めてください。それも3つか4つ以上の案を作り、順位を付けて下さい。資料調べは早めに行い、正月、家で相談できる程度に調べておいて下さい。



五島利兵衛 教授

応用電子工学科 草加勝司教授

諸君の人生を決める就職活動、長年の努力と成果が一瞬にして決まる面接試験、武者震いしませんか。不安？ならば先輩の見識と経験をもとに生まれたスーパーガイドを大いに活用したいもの。まずは自問自答から。自己の適性はどんな業種にあるのか、その会社に自分は何をgiveできるのか、10年、20年後の自分の立場は、そして自分が経営者ならどんな諸君を期待しているのか等々。就職戦線に異常はあっても、己を知った、慎重な企業研究が諸君の将来を保証するはずですよ。主役は諸君、学科の特色を生かし、自分の途は自分で切り開こう。諸君の健闘を祈ります。



草加勝司 教授

(就職指導室)

新キャンパス紹介

新講義棟は大型複合施設

大同町駅から歩いて来て信号を渡ると新キャンパスのグリーン・ゲートである。ゲートといっても実際に門があるのではなく、緑の木立が道路とキャンパスを隔てているだけだ。社会に開放し、地域と交流する新キャンパスの基本理念を表している。

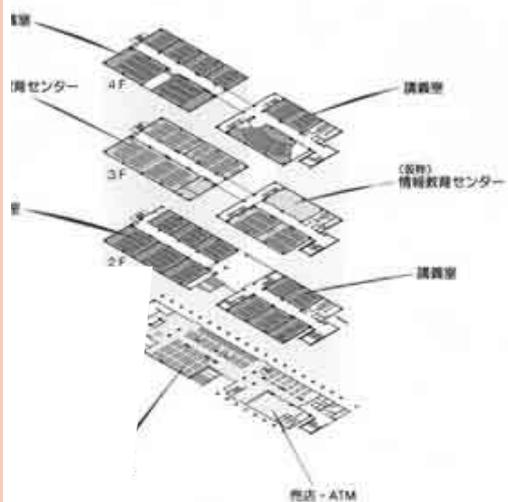
木立を通ると講義棟への広い階段が現れる。新講義棟は幅が26メートル、長さは正面階段部分を含めると約115メートルという大きな建物である。

床面積は、現在の大同校舎の9号館の2.5倍あり、滝春校舎前の道路に沿って図書館と並んで南北に偉容を誇ることになる。

楽しい学生食堂

講義棟という名称は仮の名称だが正確とはいえない。というのも、厚生施設も含む複合的な施設であるからだ。4階建ての1階には学生食堂があり、400席以上の席数が用意されている。(食堂としては隣接の仮称ゴビー館にも約40席のカフェがある。)

学生食堂は新たに東京の食堂会社が運営を行うことになっている。学生の嗜好に合ったメニューが揃えられることになっており、楽しみだ。



新キャンパス工事だより



(写真)12月10日撮影

学生食堂の北側には売店、自販機コーナーがあり、さらに80席の学生ホールもある。売店の隣には銀行と郵便局のATMが設置される。

講義室のラインナップ

講義室は2階と4階にある。廊下の両側に講義室がズラリと並び、200席講義室が1、180席講義室が2、120席講義室が2、80席講義室が2、60ないし63席講義室が10、それに40席講義室3である。

各講義室は細長の形をとらず、学生と教壇の距離が極力近くなるようにしている。200人講義室は現在の9号館の9403講義室のように扇状に席が配置してあり、多人数だが教壇と学生の距離は近い。この他に隣の仮称ゴビー館には新鋭の情報映像装置を設置した300人収容の大講義室ができるが、これについては別の号で紹介しよう。

充実の情報関係

3階は全フロアが情報関係である。演習室関係の部屋は4室でトータル約280席。学生諸君が自由に使えるオープン室もある。パソコンは最新機種に更新し30%程度の台数増が予定されている。

なお、新キャンパスのネットワークは大幅に強化される。各棟及び各フロア間は光ケーブルで接続され、高速で大量の通信が可能になる。特に通信が集中すると考えられる講義棟と本部棟の間は、1ギガbpsという大学では最高クラスの回線速度となる。大いに利用してほしい。

講義棟北側の大階段の下に掲示板コーナーが設置される。学生は毎朝ここに立ち寄ってからキャンパスの中に散っていくことになるでしょう。教務・学生・就職指導の窓口やラウンジのある本部棟には講義棟の1階からも2階からも通路がつながっている。

新講義棟は本年7月末ごろに完成し、後期からは皆さんの新しい生活の場となる。

(財務部管財室)

NEW CAMPUS



ハギア・ソフィア大聖堂の学術調査に参加

藤原 義典君（大学院建設工学専攻2年）

8月31日～10月1日の約一ヶ月間、「小アジアとその周辺地域における大規模な組石造建築の構造と修復に関する学術調査」(文部省科研費)の調査団員としてイスタンブール(トルコ共和国)のハギア・ソフィア大聖堂で調査をしてまいりました。ハギア・ソフィアは、ビザンチン建築の最高傑作と言われ、東ローマ帝国の最高権威を持つ教会堂で、後にオスマン帝国に占領され、イスラム教の大本山となった建築です。

滞在した旧市街地域は、商店が多く活気にあふれ、ビザンチン時代のキリスト教建築が多く現存しており、なおかつオスマン時代のイスラム建築も多く、街の特徴としては、2つの宗教が対立しているようでうまく調和しているような感じがある歴史のある美しい街でした。とても刺激的な毎日でしたが、地震の影響が観光客が少く感じられました。

ハギア・ソフィアの調査内容は、内外部の大アーチ、東西ドームベース等の変形測量でしたが、一般人では立ち入ることのできないミナレットやコーニス等の場所での作業が多く、細部までしっかりと建築を観察することができました。高さ60mほどのミナレットのバルコニーでの作業は、新市街からハギア・ソフィアのドームの頂部までよく見え、眺めは最高でしたが、風がとても強く、さらに余震にあうなど怖い思いもしました。コーニスでは、誕生したばかりのキリストを抱いた聖母マリアのモザイクを間近に見ることができました。ここでは、キリストが誕生してうれしいはずなのに彼の運命をすでに知っていたマリアの複雑な心境を表す繊細な作品を観察することができました。他にも煉瓦やクラック等を観察でき、とても勉強になりました。

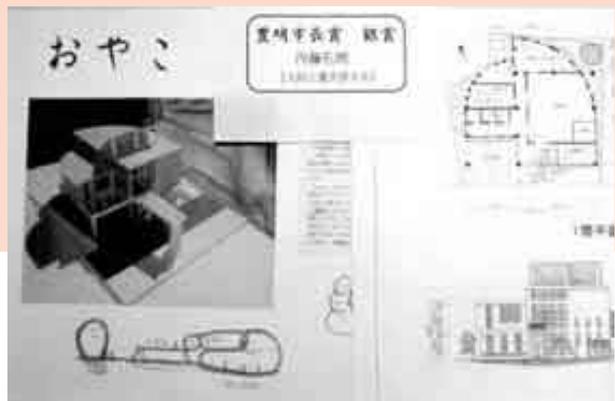


今回の調査団のメンバーは、筑波大学の日高先生を代表に東京大学の鈴木先生をはじめとする大学の先生、企業に勤務されている方、学生の計19人で構成されており、大同工業大学からは、佐藤先生と私自身が参加いたしました。建築史の研究者だけでなく、構造、美術史等の研究者もあり、それぞれ様々な考え方をもち、とても勉強になりました。またイタリア人の研究者も加わって、外国の方々と作業をするまたとない機会に恵まれ、貴重な経験もいたしました。

今回の調査に参加して、多くの新鮮で貴重な体験をしました。外国での作業は、全く異なる環境のため、体調の管理は難しいものがありますが、新たな発見がいくつもあります。自分自身にとって大きな財産になると思われます。このような機会を与えて下さった先生方には非常に感謝しております。

豊明市「大宮児童館」設計コンペ 内藤孔明君が銀賞

豊明市大宮児童館建設推進委員会主催の東海地区学生による「環境に優しいみんなで作る児童館」の設計競技に58点の応募があり、一次審査で12点に絞られた作品から、住民106人のアンケートによって入賞者が決められた。本学から応募の建設工学科建築学専攻3年内藤孔明君が銀賞に、また佳作に村山徹君、入選に花井奏達君が入賞した。



内藤 孔明 君



入賞者は11月27日(土)豊明市立大宮小学校で、都築竜治豊明市長から表彰を受けた。

同委員会は本学建設工学科太田福男教授が委員長をつとめ、「環境に優しいみんなで作る児童館」を基本テーマに、住民側から出された要望を条件に東海地区の大学や専門学校に呼び掛けて行われた。内藤君の作品は、「おやこ」をコンセプトに、道路を隔てた小学校から横断陸橋を渡ってきた児童が直接入館できるよう2階に玄関と事務室を設置し、1、2階のすべての部屋を見渡せるといった機能等が評価を受けた。

第3回 ロボットグランプリ 顛末記

成瀬・長尾君のロボットがまぼろしのグランプリ

(社)日本機械学会主催「知的スポーツの祭典 第3回ロボットグランプリ」競技会が11月20日(土)神奈川県横須賀市南体育館で開催され、本学から機械工学科西堀研究室の成瀬仁吾君、長尾敏史君の両卒研究生が出展した。両君の作品は輸送途中に破損して本番で動かないという痛恨のトラブルに遭いながらも、アイデアの独創性が認められ「娯楽賞」を獲得した。以下はそのリアルな奮闘記である。

両君は8月、電気以外のエネルギー源を利用して動く機械仕掛け「からくりロボット競技」種目にエントリーし、連日の激論、試行錯誤を繰り返しながらロボット製作に打ち込んだ。高さ約75cm、ベニヤ板(90cm×180cm×厚さ12mm)の上に、ベニヤ板、プラスチック、自転車の歯車等の廃材を利用して、「ジェットコースター」「大観覧車」「ティーカップ」「スペースショット」の4つの乗り物からなる「くるくるランド」のビデオ予選向け用ロボットを、工作実験実習室職員の協力を得て10月末完成させた。

11月にロボット動作を示す「ビデオ映像予選」を見事にパスしたとの朗報が入った。各種目全国12チームによる本大会に出場できるのは名誉なことだが、折角のチャンス「出るからには入賞したい」。とはいえ複雑な仕組みで、ロボットはまだ満足に動かない。両君はさらに日夜改良を重ねた。

大会前日、「出来た！動いた！」と長尾君、「これなら絶対入賞できるぞ」と成瀬君。

ところが大会当日、名古屋から横須賀会場までの自動車搬送で、複雑な機構のロボットは耐えきれず破損。朝9時に会場に着いてからあわてて修理をするが、修理すればするほど別なところが壊れる。競技が始まるまでの5時間、頑張つて修理を続けるがとうとう動かない。「万事休す」とがっかりと肩を落とす両君。それでも気を取り直し、動かないロボットを身振り手振りで審査員に一生懸命説明する姿は、今までの努力を少しでも理解して頂きたいと哀願しているかのようであった。

動かないでは入賞はありえない。表彰式にも並ばず会場の片隅で、「喧嘩をしながらも苦労して来たのは一体全体何だったんだろう。」と肩を落とす二人。



右端から長尾君、成瀬君

むこうで表彰式が始まった。「からくりロボット競技の部、ゼッケン番号1番くるくるランド、娯楽賞」。何気なく自分の付けている1番のゼッケンを手に持って確認をする。「はっはいっ」長尾君、「やった！」成瀬君。

本競技会は、「大道芸ロボット競技」「からくりロボット競技」「ロボットランサー競技」の3種目あり、予めビデオ映像による予選を勝ち抜いた企業・大学・高専のチームによって競技が行われた。他チームのロボットは、一つの動力源によって一斉にロボット全体が動くのに反して、両君のアイデアは、パチンコ玉を積んだコースタが途中でパチンコ玉を放出、その力で動く乗り物があったり、またコースターの落下力で動く乗り物があるなど、ドミノ倒しのように動力源が複数になって各々の乗り物が予め決められた順序に従って動作するロボットを作り上げた。審査員から「動けばグランプリ賞候補になった。審査員としても残念だ。」との講評を受け、動かなかったロボットでは唯一表彰を受けたことに両君は満足していた。

新刊著書を語る

ニューパラダイムテキストブック

構造力学

A5版 228ページ

発行日：1999.4.20

ニューパラダイムテキストブック

構造力学

A5版 282ページ

発行日：1999.9.27

著者：酒造敏廣

(建設工学科教授)他

出版社：山海堂



酒造敏廣教授



構造力学は、土木教育の分野では、最も重要な科目の一つである。

本書は、何のための構造力学か、それが実社会でどのように役立っているかを理解しながら、構造力学を学ぶことができるように計画された。形式的には演習書の体裁をとって、本書の14~16章(163ページ)を酒造が執筆担当した。これまでの演習書は、とすると、ある項目について典型的な問題を主体に取り上げていたのに対し、本書では、特に実際の構造物との関係に力点を置きながら、1学生にとって興味深いと思われる事項、2基本的な事項、および3最低限知っておいてほしい事項を演習問題として取り上げた。1,2年次で学ぶ構造力学を復習するときに、副読本として役立てて頂きたい。

RWTHの交換留学生の印象記

私のインターンシップ

アーヘン工科大学 アストリッド・ブルムさん



8月上旬から10月下旬まで本学と大同特殊鋼で研修をしたアーヘン工科大学の学生アストリッド・ブルムさんが、本学を去るに当たって感想を学生室に提出してくれました。

ヨーロッパのライフスタイルと日本のそれとの違いの最大のもの形式を重んじること (formality) と規制 (regulation) だと思います。大同特殊鋼の寮では、朝食や夕食の時刻を知らせるベルが鳴ります。会社でも同じように休憩や健康のための運動をする時刻を知らせるシグナルがあります。職場において安全と清潔・整頓がドイツの場合より重要とされています。また、銀行だろうがレストランだろうがどこも制服を着ているのもドイツとは違います。環境保護についての態度には日本独特のところがああります。ゴミや廃棄物などは注意深く分別する一方で、買い物をするるとどんな商品も包装されています。

日本での生活は快適といえますが、私にとってどこでも発生する最大の困難はことばです。特に電車に乗るときが問題です。にもかかわらず日本と日本人についてたくさんの経験ができました。というのも、誰か私に何とかわからせようと努力していただけるからです。私が実習している職場の方々には英語の堪能な方が多くて助かりました。

私の今回の実習のテーマは「加工熱処理を応用した鍛造のプロセス・モデルの研究」です。主な研究は熱間加工シミュレーターを用いた据え込み実験です。しかし時間の不足で本質的な方程式を得るまでには至りませんでした。しかし、会社研究開発部門で物事がどう進められるかについて実際の姿を知ることができ、この実習を十分エンジョイすることができました。

実習の最後にプレゼンテーションをしましたが、多くの大同工大の学生さんが出席されたのに驚きました。外国人であったからかもしれませんが、もう一つの理由は日本ではドイツの場合より企業が学生の実習をより多くケアすることではないでしょうか。

実習を終えるに当たりこの3ヶ月はまことに興味に満ちたものでした。実習先でも街でもすべてナイスな人々と会いました。

いつか再び日本に帰って来たいと思っています。(学生室)

世界文化遺産ドイツ・ケルン大聖堂
バオヒュッテ(建築管理事務所) 研究員

トーマス・シューマツハ博士が来学

五島建設工学科教授の研究テーマ「フリーハンド応用工法の再現とリブ・ヴォールトのルーツ解明」が、文部省から科学研究費補助金を受けたのを機会に招へいしたものである。

昨年度は、本学姉妹校のアーヘン工科大学よりエクステンジ・プログラムに基づきシュミット教授を招いて研究が進められた。今年度もかつて五島教授のドイツ滞在中の調査協力者であり、顔なじみのドイツ・ケルン大聖堂管理事務所研究員のトーマス・シューマツハ博士を招き、上記研究の一層の促進がはかられた。

博士は、10月10日から17日の1週間 本学に滞在された。その間、10月13日(水)白水校舎に於いて、「ケルン大聖堂外陣身廊部の19世紀の建設の様子と現在の修復・保存」のテーマで、大学院特別講義として行われた。その中で、第2次世界大戦で破壊されたリブ・ヴォールトをフリーハンド工法で修理新築している様子や、40メートル上空で石造天井よりゴンドラを吊り下げて天井面やステンドグラスを修理している様子がスライドで紹介された。滞在中は建設工学科教員、大学院生らと模型やスライドを用いて活発な研究討論が行われた。

今後とも研究への協力・友好を約束し、再度の来訪を胸に、本学に対して「エクサレント、ワンダフル」と云う印象の言葉を残して帰国された。(建設工学科)



大学院「特別講義」

海外留学

建設工学科土木工学専攻助教授
大東 憲二



この度、大同工業大学から1年間の海外留学の機会を与えられ、アメリカ合衆国オレゴン州コバリス市にあるオレゴン州立大学に昨年の10月1日に到着しました。大同工業大学の提携校であるオレゴン州立大学には10ヶ月間滞在し、オレゴン州、カリフォルニア州、ワシントン州などアメリカ西部における地下水管理の状況を調査する予定です。

私の所属する学科は、Department of Civil, Construction, and Environmental Engineering で、日本語にすれば、土木・建設・環境工学科となります。5年ほど前に学科再編があり、Civil Engineering Construction Engineering Management、それと新設のEnvironmental Engineering の3つのコースが一つになってできた学科です。学科としては一つでも、これらのコースは独立しており、実質的には3つの学科と考えてよいです。卒業に必要な科目も各コースで少しずつ異なっています。

Environmental Engineering のコースができたことは、オレゴン州立大学でも環境工学を重要視していることの表れでしょう。

Environmental Engineering の内容は広範囲に亘るため、他の学科との交流が盛んです。地下水管理に関する研究は Civil Engineering や Environmental Engineering の先生だけでなく、Bioresources Engineering や Geoscienceの先生も行っています。これらの学科の先生方との研究交流

を始めつつあります。

さて、現在、二人の大同工業大学の卒業生がオレゴン州立大学で学んでいるのをご存じでしょうか。一人は、Mechanical Engineering の大学院修士課程の久野正裕君(92M083)で、今年の夏には大学院修了の予定です。彼は日常生活の英語は勿論、大学院の難しい授業の英語にも十分ついていけるだけの力をオレゴン州立大学に来てから身に付けた努力の人です。もう一人は、オレゴン州立大学で英語を学びながら、Environmental Engineering の大学院修士課程への入学を目指して勉強している松尾奈々さん(94M195)です。彼女は機械工学科の卒業生ではありますが、環境工学に興味を持ち、オレゴン州立大学で環境工学を勉強したいという夢を叶えるために努力しています。大同工業大学の卒業生に彼らのような努力家がいることを私は誇りに思っています。私がアメリカに着いて以来、久野君と松尾さんには大変お世話になっています。

オレゴン州立大学には今年の7月末まで滞在し、8月にはヨーロッパに渡ります。大同工業大学の提携校であるイギリスのノッチンガム大学、ドイツのアーヘン工科大学を訪問し、さらに地盤沈下の研究が盛んなオランダのデルフト工科大学も訪問して研究交流する予定です。その後、9月24日からイタリアのラベンナで開催される第6回地盤沈下に関する国際シンポジウムに出席し、9月末に帰国する予定です。

この1年間の海外留学が、今後の私の研究活動の大きな糧となるよう、多くの人々と親交を深めてきたいと考えています。私が不在の1年間、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

推論と閃きの魅力に惹かれて

～ 瀬川 重男 教授 ～
(一般教養・数学教室)

算数嫌いの瀬川少年

瀬川先生の故郷は石川県の田舎である。山の中といってもいい。地域には小学校も中学校も一つだけで、しかも一学年の人数が50人程度しかない。

小学校時代、当時はソロバンが盛んで、上手な子はチョットしたヒーローであった。クラスの過半数の生徒が級をとっていたものだが、瀬川少年は全く上達せず、級などとも取れるものではなかった。このように計算の苦手な瀬川少年は算数は苦手であった。中学校に就いて算数は数学と名前を変えたが、好きにはなれなかった。高校は小松高校に進学した。最初の実力テストで、瀬川少年はひどい点数をとってしまった。ショックであった。3年先には大学入試が待っており、苦手では済まなくなってきた。意を決して瀬川少年は数学に本気に取り組みだした。転機がやってきた。気合いを入れて勉強したら、今まで自分には向いていないと思いつけてきた数学が、意外にも面白くなってきた。高校の数学は、もはや計算ではなく、考えることが求められたからである。

ルービック・キューブに挑戦

瀬川少年は、小さい時から計算は嫌いだ、パズルが好きだった。じっくり考えることが好きだったのだ。

今回研究室を訪問したら、先生はルービック・キューブをいくつか用意して待っていた。ルービック・キューブは、正立方体の小片をいくつか集めて全体が大きな正立方体になっている。たとえば、タテに2個、ヨコに2個のキューブ(正立方体)計4個の層を2層重ねると8個のキューブからなる正立方体ができる。これが一番小さいルービック・キューブである。3×3×3のキューブ、4×4×4のキューブと、いくらでも大きくできる。どのルービック・キューブでも六面の表面層があるが、表面層だけはクルクル動かせるようにできている。この六面の表面層をいろいろ動かすことによって、特定のキューブを所定の位置に移動させ、表面に決められた模様を作るのが課題である。

瀬川先生は、まずキューブの動きの法則を見いだそうと考える。基本は論理的な思考とそこから出てくる推測で、実際にキューブをグルグル動かして自分の推測の正しいことが証明された時は嬉しい。時にはパッと閃くこともある。論理的思考と推論、そして天恵のように稀に訪れる閃き、数学の世界に似たところがあると先生は言う。

世界的数学者ハインズ教授との縁

こうして高校生の瀬川少年は、いつしか数学の魅力にとりつかれるようになって、進学先に京都大学の数学科を選んだ。

京都大学で、ある時指導教授の楠教授から、世界的な数学者であるハインズ教授の論文を見せられた。なんと論文にはカタカナで「ハインズ」とハンコが押してある。実はこれはハインズ教授がかつて京都大学に滞在した時、楠教授がプレゼントしたもので、楠先生はそれを自慢気に瀬川学生に見せたようだった。その時は外国人のハンコが珍しかっただけであったが、その後名古屋大学の大学院生となって改めてその論文を読んだ時、「リーマン面上の関数論」の魅力に取り込まれてしまった。「これだ!」という思いが走った。



ルービック・キューブを見せる瀬川教授

ハヶ岳の東にある本沢温泉露天風呂にて日頃の疲れをいやす、棒杭に『雲上の湯、2150米』とある。



それから数年後、研究者となった瀬川先生はやっと自信のもてる論文を書き上げることができた。その抜き刷りを、自分にリーマン面上の関数論の世界に導いてくれたハインズ教授に郵送した。

やがて、ひょっとしたらと期待していたハインズ教授からの手紙が届いた。手紙にはあの「ハインズ」のハンコが朱の色も鮮やかに押してあった。直接会ったのではないが、「世界の大先生から認められた。」という思いは数学者としての瀬川先生の将来に自信を与えた。だから、このハインズ教授からのハンコ付きの手紙は瀬川先生の宝物となった。今でも瀬川研究室に大切に保管してある...ハズであった。ところが、今回私たちの取材に見せようと探したところが、研究室の書類の山に埋もれて見つからない。何としたことか! パチが当たるんじゃないだろうか、と瀬川先生、悲嘆に暮れているが、どうなるのでしょうか。

(原稿締切の日に、「発見!」との報告がありました。よかったですね。)

日本数学会で招待講演

瀬川先生の研究テーマは一貫して「リーマン面上の調和関数」である。研究室訪問には研究テーマのやさしい紹介は欠かせない。取材者我々2名、全く自信はなかったが、記者?としての責任感から健気にも解説を聴くことを決心した。先生は手を尽くしてやさしく(と思うが)説明を試みられたが、錆び付いた我々の頭脳には理解は無理だった。一時間近い悪戦苦闘の後、瀬川先生も我々2名もあきらめの心境に到達した...で、今回は研究テーマは説明なし。

すぐれた研究論文で、先生は日本の数学界から高い評価を受けた。その証拠が1988年と1997年の2度にわたって日本数学会から招待講演の依頼を受けたことである。招待されるのは10ぐらいあるそれぞれの分野ごとに年に数名程度という名誉ある依頼である。

いまでは学会誌の論文の審査を委嘱されるようになったが、数年前からは国際的に権威のあるアメリカ数学会の評論誌「Mathematical Review」のレビューア-も委嘱されている。

研究室のドアは開いています

瀬川先生のところに限らず、数学教室では学生の来訪を歓迎している。わからないところがあれば、いつでも研究室に来てほしいと待っている。ところが、実際には普段はなかなか来る学生が少なく、試験の前になるとドッと増える。慌ただしくなって落ち着いて教えられなくなってしまうそうだ。学生の皆さん、他の人が行かない普段の時期こそ狙い目なのです。コーヒーぐらい出て、親切丁寧をモットーにわからないところを教えてくださいませよ。瀬川先生のところだったら、ルービック・キューブも教えてもらえるよ。ドアは開放している、とおっしゃるが多分実際には閉まっていると思うが、心は開いているので、ノックすればOK。

先生はワングル部の顧問をやっている。昔から自分でも山歩きをする。この夏には芭蕉のように、奥州を歩いてきた。北アルプスにも随分行くが、春や秋は鈴鹿の山が良いそうだ。鈴鹿なら自分の庭のように知り尽くしている。

後援会だより ● 教育懇談会、和気あいあいのなかで開催

本学後援会(会員数：約3400名)が主催する、平成11年度教育懇談会が9月18日から11月3日にかけて9地区12会場で開催されました。

この懇談会は後援会が会員である全学生の父母に対して行っている最大の行事の一つです。ご父母の皆さんと大学が両輪となって学生たちの豊かなキャンパスライフを支援したいという願いから全国各地へ学長をはじめとする大学教職員が参加して、次のような内容を提供しています。

(1) 大学の現状や将来計画、日常生活、就職など進路に関する最新情報の提供

最近脚光を集めている、スクリーンを用いたプレゼンテーション形式による説明が行われました。分かりやすく鮮明で迫力のある画面は出席者に好評で、特に大写しになった大学新キャンパスの完成予定図は注目を集めていました。



(2) 学生の最新の成績表をもとにした、父母と教員の1対1の面談

教育懇談会の中核をなす企画です。指導教員はもとより、面談を担当する教員もこの日のために個々の学生の様子について予習したうえで臨んでいます。面談は主として前期における成績表をもとに行われました。父母から「きちんと授業に出席しているか」「現在の成績で順調に進級・卒業ができるか」そして「就職状況はどのようになっているのか」といった質問が集中し、面談の会場は熱気にあふれていました。



(3) 打ち解けた雰囲気の中での懇親パーティー

面談後は、後援会役員や教職員とさらなる親睦を深めるために立食形式で懇親会が行われました。ユーモアが混じり、打ち解けた雰囲気の中にご父母と教職員が日常の学生生活の注意点や、履修や奨学金などに関しましてさまざまな情報交換をおこなう場面が数多く見られました。



各会場においてご父母の皆さんに記入をお願いしたアンケートには、「もっと早い時期から参加していれば良かった。」「大学での子どもの様子がよく分かるので、非常にありがたい企画だ。」「学長の人柄に惹かれた。」「他大学にない、温かみのある後援会や教職員の対応があるので毎回の懇談会が楽しみ。」「教授への親近感が湧いた。」といった感想が多数集まっており、きわめて好評のうちに終了したことを伺い知ることができます。

なお、次年度もご父母の皆さんにとってさらに有意義な内容となるよう実施する予定です。一人でも多くの方がご参加下さいますようお願いいたします。(庶務室)



水ロケット教室 子供ら打ち上げに歓声!

日本宇宙少年団名古屋新分団主催の「水ロケット教室」が、9月26日(日)午前10時から本学滝春グラウンドで開催された。

宇宙少年団事務局から水ロケット教室の協力依頼を受けた本学では、学生会とともに地域交流活動の一つとして協力。

「水ロケットを作って飛ばそう」との、呼びかけに参加した本学周辺の小中学校の子供たちや学生会の学生ら30余名が、名古屋工業大学の坂井先生の指導のもとで、ペットボトルと牛乳パックなどの材料を使って水ロケット作りをした。出来上がったロケットに水を入れて発射台にセットし、「3、2、1発射」と参加者全員のカウントダウンを合図に、勢いよく水を吹き出しながら飛び出したロケットに参加者は大きな歓声を上げていた。

畠山杯争奪ソフトボール大会 機械工学科選抜チームが優勝!

日本機械学会東海学生会主催「第29回 畠山杯争奪ソフトボール大会」が11月21日(日)中部大学グラウンドで、東海学生会に所属する大学・高専の9チームによって開催され、大嶋助教監督が率いる機械工学科選抜チームが優勝した。

機械工学科選抜チームは、先頃行われた体育大会準優勝チームのメンバーに優勝チームから補強して編成された。1回戦、鈴鹿高専を7対5で退け、2回戦、対三重大学は剛速球投手を擁する優勝候補に手が出ず苦戦を強いられた。技巧派投手の松井君を遊撃手水野君、外野手森、深谷両君の華麗な守備力で守り立てて、終盤に至ってようやく立澤君のバットングが効を奏し、7対5の接戦をものにしての勝利。優勝戦の対名城大学戦は、完封目前で惜しくも1点を取られはしたが、全員野球が実を結び7対1と圧倒的な強さで優勝を決めた。



「優勝の喜びの声」学内ソフトボール大会で優勝を逃したので、大満足我がチームは、3年生オンリーなので、来年は連覇を狙いたい。
参加選手名：水野圭、松沢孝純、松野康治、松井友和、三崎友也、村瀬賢一、森由智、立澤基至、深谷亮夫、細野拓郎、教員：西堀教授、大嶋助教
優勝 大同工大 2位 名城大 3位 豊田高専・名工大

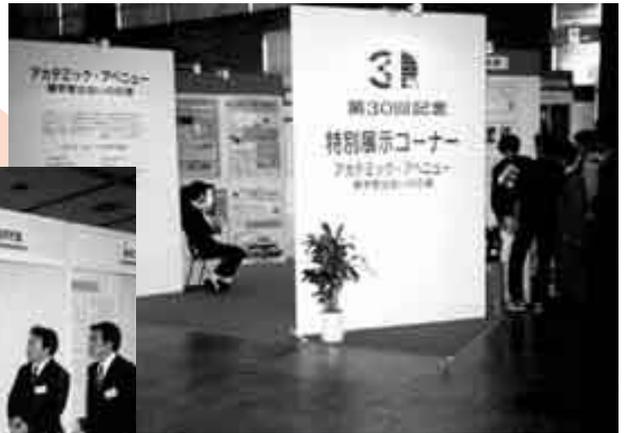
中部エレクトロニクスショー・カレッジプラザに出展

中部エレクトロニクスショーは本年で30回を数える伝統ある催しで、本年は節目の年を記念して大学等研究機関の研究成果の特別展示を加え、10月20日～23日までの4日間、吹上ホールで開催された。本学からは、神保助教授（材料科学技術研究所）が「超高密度HDD用ヘッド材料の研究開発」を出展した。

カレッジプラザは名古屋市商工会議所が主催する「名古屋技術交流ひろば'99(わくわく技術交流展)」の一環として4年前から開催されているものです。

本年は11月5日、6日の2日間、吹上ホールにて開催され、本学からは、一般教養・酒井教授、機械工学科・西堀教授、大嶋助教授、電気工学科・藤田教授、建設工学科・山本教授、光田講師、応用電子工学科・和田教授、堀尾助教授の8研究室が出展した。

両会場とも製品開発のアイデアを求めるビジネスマンを中心に大盛況でした。



文化講演と映画試写会

ピーターの大道芸に大喝采

本学協賛の「文化講演と映画試写会」(主催CBC中部日本放送)が、11月28日(日)白鳥センチュリーホールで開催された。NHK教育テレビ「マテマティカ」のレギュラー出演などで話題となっているピーター・フランクル氏の文化講演「人生を楽しくする方程式」と主演ジャッキー・チェン、スー・チー共演の新感覚ラブアクション映画「ゴージャス」の試写会に応募者3000名のなかから抽選によって1000名余の方々が入場した。

ピーター・フランクル氏は、共産主義下のハンガリーに生まれ、葛藤を覚えながらも自由な世界との出会いを求めて、フランスに亡命。心はいつも自由人、頭と心に財産を持つこと。紙とペンさえあればできる数学、そして多くの人との出会いを生む大道芸は、私が身に付けた財産であるとの放浪記を披露した。インドネシアで大道芸を無許可で演じて寸志を得た罪により逮捕された。その時牢の中で会得した中国古来の芸を披露して幕を閉じた。

参加者は、ピーター・フランクル氏の「逆境のなかでも、プラス思考で」との大道芸を取り入れた講演に共鳴したり、喝采したりで満足していた。



交通事故

乗用車と自動二輪車による学生の交通死亡事故が10月に発生しました。進級も順調に運んだ後の惨事とあって、ご両親の悲しみと本人の無念さは計り知れないことでしょう。慎んでご冥福をお祈りします。

再三にわたってキャンペーンなどでも呼びかけてきましたが、学生による交通事故は一向に減る様子がありません。これは大変に憂慮すべきことです。本学は自由と責任を何より尊重する「大学」と呼ばれる所ですから、皆さんが免許を取得してハンドルを握ることを禁止していません。ところがこの頃では、好き勝手に「自由」ばかりが闊歩し、それにとまらぬ周囲への思慮や注意そして責任というものが二の次になっているようです。相変わらず減らない大学近辺での迷惑駐車や先に述べた、多発する交通事故がその何よりの証拠ではないでしょうか。特に道路上においてはさまざまな目的でヒトが車を運転していたり、歩いていたりするわけですから、たった一人の人間の勝手な行動や不注意が何の罪もない他人の命を奪ったり、傷つけたりすることに結びつく可能性があることを常に頭のなかに入れておかななくてはなりません。

交通事故というものは何の関わり合いも憎しみもない者同士が体と心を傷つけ合う悲劇に他ならないのです。特に学生の皆さんには何物にも代え難い輝かしい未来があるので、自身のつまらないわがままや、不注意のためにそれを失うということがないように、十分に注意しなくてはなりません。下記の本学交通安全スローガンを肝に命じて安全運転を心掛けて下さい。

**落とせ!! スピード 落とすな成績
若い人生ハンドルしだい**

(学生室)

漕艇部 なごやレガッタ

塩見さんシングルスカルV 男子シェルフォアは準優勝

名古屋市主催「第17回なごやレガッタ」が10月3日(日)名古屋港漕艇センター、中川運河コースで行われ、塩見優子さん(電気工学科2年)がシングルスカルで初優勝に輝いた。

出漕133クルー、中川運河830mコースは、晴天ではあったが早朝から強い風が吹き荒れ三角波が立ち、水ぶきを受けながらのレースであった。シングルスカルで出漕した塩見優子さんは、時折強吹風にバランスを崩しながらも2位のクルーを圧倒的な大差で破って優勝を決めた。また、男子シェルフォアに出漕した本学クルーとOBクルーは、予選準決勝順当に勝ち進み決勝進出を果たした。決勝戦での本学クルーは名古屋大学OBクルーに惜しくも敗れはしたものの、名古屋大学クルーとの接戦を制しての準優勝であった。



喜びの塩見優子さんの声

風が強く吹いてて、漕ぎ辛かったけど勝てて良かった。

女子シングルスカル決勝

優勝	大同工大(98E 塩見優子)	4分15秒28
2位	串原RC	4分46秒03
	中京大学	棄権

男子シェルフォア決勝

優勝	名古屋大学OB	2分54秒66
2位	大同工大	3分03秒47
	(96M大浦義則, 96E松居秀次, 97C中尾輔公, 96M神田卓浩, 97M牟礼泰介)	
3位	名古屋大学	3分03秒81
4位	大同工大OB	3分07秒63



空手道部 三重県大学・高専空手道選手権大会

「型」「組手」の両種目に森田さんV

第8回三重県大学・高専空手道選手権大会(主催三重県大学・高専空手道部OB会)が10月31日(日)皇學館大学体育館で4大学2高専7名の出場選手によって開催された。

女子個人種目に出場した森田知華さん(建設工学科2年)が「型」、「組手」の両種目に堂々たる強さで優勝に輝いた。

男子個人種目「型」に出場した山崎貴史君(電気工学科3年)が3位に、団体戦「組手」3位「型」で準優勝に輝くなど大健闘であった。

団体「型」の部

優勝 皇學館大、2位 大同工大 3位 三重大

団体「組手」の部

優勝 松坂大、2位 皇學館大 3位 大同工大

女子個人「型」の部

優勝 大同工大(98C 森田知華)、2位・3位 皇學館大

女子個人「組手」の部

優勝 大同工大(98C 森田知華)、2位・3位 皇學館大

体育大会

恒例の学生会主催による体育大会が10月21日(木)、22日(金)の両日にわたり滝春グラウンド、石井記念体育館で開催された。両日も薄曇り、絶好なコンディションのなか、ソフトボール、硬式テニス、フットサル(ミニサッカー)、卓球、バスケットボールの5種目にわたって熱戦が繰り広げられた。参加者の学生、職員チームは時折出る珍ゲームに爆笑、好プレーには拍手が起きるなどハッスルプレーが随所に出て、日頃の運動不足を解消していた。

硬式テニス

- 1位 モモシリサーブ
- 2位 こきざみ上手
- 3位 ドッチーモ

卓球

- 1位 さくらといっしょ!
- 2位 磁性流体
- 3位 音研

フットサル

- 1位 シビエン
- 2位 Happy Happy Joy Joy

ソフトボール

- 1位 学祭優勝ダーハイ
- 2位 古田ちえ
- 3位 チームヤーク

バスケットボール

- 1位 ロン
- 2位 シビエン
- 3位 FBI



グリーンキャンパス

CAMPUS

めざそう! グリーンキャンパス、 グリーンキャンパス

第36回 錦杯学内レガッタ 豪華な賞品にびっくり

本学伝統の学内レガッタ大会(主催クラブ委員会)が11月7日(日)庄内川ボートコースで出漕40クルーが競った。

今年も恒例となった堰堤でのテント張り、真夏の思い出すほどの暑さ、おでんとバーベキュー、ほろ酔い気分で声援をおくる応援団などまるでお祭り気分、初めて漕ぐ選手らは「漕げるのかなあ」と不安そうに出漕し、無事レースを終ると手のひらにできた豆を忘れて「実に面白い」と、沈レースの敗復戦に挑んでいた。

熱戦を制したのはクラブの部はDMピンクエンジェルズ、一般の部では「山田錦」85E卒業生クルーが3年連続優勝を飾った。「来年は4連覇を狙います。」と早くも心は来年に飛んでいた。両チームとも表彰式では後援会、同窓会からの豪華な賞品に驚いていた。



一般の部

- 優勝 山田錦
- 2位 笠嶋研1
- 3位 浦島鉄筋家族

クラブの部

- 優勝 DMピンクエンジェルズ
- 2位 吹奏楽2号
- 3位 ダンスクラブ

クラブ活動報告

剣道部

- 9 / 26 東海学生剣道新人優勝大会
団体2回戦
大同工大 0 - 5 浜松大学
- 12 / 12 南区剣道大会

大村君準優勝

- 97M 大村 晃太 準優勝
- 99M 日比 隆太郎 3回戦
- 99A 桑山 季夫 3回戦

将棋部

- 10 / 31 第40期 東海アマ王将位決定戦

山口君C級で優勝

- 個人戦
- 97E 山口 忠敬 C級 4勝1敗
- 98E 鬼頭 達志 C級 4勝1敗
- 98D 服部 聡志 C級 3勝2敗
- 99D 佐久間 順 C級 2勝3敗
- 99E 安藤 正樹 C級 1勝4敗

バレーボール部

- 9 / 15 ~ 10 / 3 第108回 東海大学
男子バレーボールリーグ戦
- 大同工大 0 - 2 名古屋大学
- 大同工大 2 - 1 愛知工業大学
- 大同工大 2 - 0 南山大学
- 大同工大 1 - 2 愛知教育大学
- 大同工大 2 - 0 中部大学

サッカー部

- 9 / 15 ~ 10 / 25
東海大学サッカーリーグ戦
- 大同工大 1 - 1 愛知教育大学
- 大同工大 4 - 1 名古屋工業大学

- 大同工大 0 - 2 朝日大学
- 大同工大 1 - 3 愛知大学名古屋
- 大同工大 0 - 2 三重大学
- 大同工大 2 - 3 愛知工業大学
- 大同工大 2 - 3 静岡県立大学

陸上部

- 10 / 30 ~ 31
第27回 名古屋支部陸上競技選手権大会
- 97M 藤岡 康志 1500m 4分45秒09
- 97M 船坂 尚 1500m 4分55秒70
200m 25秒17
- 97D 栗本 俊之 200m 25秒00
110mH 18秒71

漕艇部

- 10 / 23 ~ 24
中部学生漕艇新人選手権競漕大会
- 男子舵付シェルフォア 敗復2位
- 男子ダブルスカル 準決勝5位
(99E 原、99D 田中)
- 男子シングルスカル 準決勝棄権
(99E 本田)
- 女子シングルスカル 決勝3位
(98E 塩見)

自動車部

- 10 / 17 東海シリーズ(MASC)
- 97C 岡森 貴史 AII 12位

- 10 / 24 山室山ダートトライアル第6戦
- 96M 本多 正幸 A 2 7位
- 98M 松永 祐磨 A 3 17位
- 98A 横田 昌彦 C D 3位
- 11 / 3 カレッジカップ 99

岡森君1クラス優勝

- 97C 岡森 貴史 1クラス 優勝
- 95E 緒方 崇之 1クラス 3位
- 97M 河野 大作 1クラス 20位
- 98A 横田 昌彦 2クラス 13位
- 98E 木村 和憲 2クラス 22位
- 97M 高松 明日香 Lクラス 2位
- 96M 本多 正幸、97M中村圭作
Cクラス 11位

バドミントン部

- 10 / 22 ~ 29 第19回愛知大学・
第44回愛知大学新人バドミントン大会
- 96A 間 大資 シングル 3回戦
- 97E 荒井 輝也 シングル 4回戦
ダブルス ベスト16位
- 98M 北村 裕一 シングル 3回戦
- 99C 米田 真也 シングル 3回戦
ダブルス 3回戦
- 96M 向井 公光生 ダブルス ベスト16位
- 97A 宮田 亮 ダブルス 3回戦
- 97M 末永 貴文 ダブルス 3回戦
- 98M 落合 勇樹 ダブルス 3回戦

フットサル部

- 10 / 24
第5回全日本フットサル選手権大会開催
大同工大(DIT FC)1 - 2 春日井CIELO

「将棋部」

クラブ紹介

部長 97E 山口忠敬君

将棋をやりだしたら止められない!



皆さんこんにちは、将棋同好会です。将棋同好会の経緯と将棋の楽しさをお話しします。

将棋同好会が出来たのは1997年の12月です。そのころはまだ同好会ではなく、研究会でした。部員も7人しかおらず、部室が無いので活動もろくに出来ませんでした。4月になり新入部員も2人入り、6月には部に昇格して、今の同好会ができました。

翌年3月にクラブハウス棟の3階、一番左の部室が貰えました。そのせいか、4月には一年生、二年生の新入部員が入り、合計20人になりました。また、活動日は月曜日と決めていましたが、将棋をやりだしたら止まらなくなり、最近では毎日昼と夕方に活動をしています。活動は主に2人で将棋を指しています。その他にトーナメント、リーグ戦等の大会を開いたり、本を読んで定跡を覚えたり、詰め将棋をしたり、将棋の研究をしたりしています。でも将棋ばかりやっているわけではありません。せっかく、部室を貰えたので、一息入れて遊んだりもします。

プロ棋士に大会があるように、大学生にも大会があります。大会を紹介していきますと、大学生の大会では、中部学生将棋新人王戦、春と秋に中部学生将棋個人戦、中部学生将棋団体戦があり、小・中・高・高専・

大学・大学院の現役だけの中部オール学生将棋選手権もあります。一般の部では、アマチュア竜王戦愛知県予選、アマ名人戦愛知県大会、東海アマ王将位決定戦があります。(一般の部の大会は、全国大会出場権争奪戦・A級リーグ・B級リーグ・C級リーグと強豪順に、4つのグループに分かれています。)我々将棋同好会はあまり強くないので、一般の部のC級リーグで参加していますが、平成11年10月31日(日)に、東海アマ王将位決定戦のC級リーグで個人優勝を果たし、優勝者はB級リーグに昇格しました。

このように、日頃楽しく将棋をするだけで、我々将棋同好会は少しずつ強くなり、その成果を大会で試しています。将棋経験者、そうでない人、興味が少しでもありましたら一度将棋部に来て下さい。楽しいですよ。

ももすけ 本学の源流、桃介を訪ねて(5)

旧約聖書の「モーゼの十戒」はしばしばスベクタクル映画になって日本人にもおなじみであるが、福沢桃介も十戒を残している。

これについては、部下として直接に桃介に仕えた宮寺俊雄氏が、その著書「財界の鬼才～福澤桃介の生涯」に紹介しているので、後世の私たちも知ることができる。

40才を過ぎていよいよ本格的に実業に乗り出した桃介が、東京から名古屋に乗り込んで名古屋電燈(株)の社長になったことは7月号に書いた。

宮寺氏によれば、桃介の仕事のやり方は積極的であると共に細心であった。

これはこの細心の例には適切でないが、大資産家の桃介の細かさを示す一つのエピソードを宮寺氏が綴っている。

ある日、木曾の発電所工事視察に行くため重役や他の幹部と共に千種駅で汽車を待っていた。一緒に行った連中が皆勝手に新聞を買うのを見て、桃介は「同じ新聞をめいめいに買う馬鹿があるか。違う新聞を買って、代わり合って読めばいいじゃないか。小さな金を

粗末にする者は、末は乞食だ。」と叱りつけた。

当時従業員を戒めるために自ら「互戒十則」を定め、部屋ごとに掲げた。(漢字、ふりがなは現代風に変えて示す。)
「互戒十則」を紹介する。桃介らしくやさしいことばで述べているので、特に解説はいらないでしょう。読者各自で味わってください。

- 一、我々の受くる幸福は、十万需要家の賜物なり。
- 二、我々は寸時も、需要家の恩恵を忘却すべからず。
- 三、需要家の主張は常に正当なり。ねんごろに応接すべし。
- 四、故障を絶対に予防し、需要家に満足を与うべし。
- 五、時間と労力は貴重なり。もっとも有効に使用すべし。
- 六、その日になすべき仕事は、明日に延ばすべからず。
- 七、細事も忽せにするなかれ。一物も損なうなかれ。
- 八、議論と形式は未なり。実益を挙ぐるを本とせよ。
- 九、不平と怠慢は健康を害す。職務を愉快に勉めよ。
- 十、会社の盛衰は我々の双肩にあり。協力奮闘せよ。



桃介の十戒

福沢桃介とは

明治から昭和にかけて名古屋を中心に電力・鉄道・製鋼の事業に活躍した天才的な実業家。本学の創立は昭和39年であるが、前史をさかのぼれば、昭和14年大同製鋼による大同工業学校の設立に、さらには大同製鋼の創立者でもある福沢桃介に至る。桃介の溢れる創意とチャレンジ精神、合理的な思考と国際的な視野には学ぶべきところが多く、本学の「学祖」と言ってもいいかもしれない。なお、福沢諭吉のむすめ婿としても知られている。

ゴビーの

歩道



アーヘン工科大学で 特別講義

建設工学科教授
佐藤 達生



昨年(1999年)10月に、本学の提携校であるドイツのアーヘン工科大学で、私の研究テーマについて講義をする機会がありました。

私にとってアーヘンは、今回が2度目の訪問です。1997年の早春、ライン河沿いに点在する中世の教会堂を見るため、ドイツを列車で一人旅したことがあります。このときが最初の訪問でした。パリからケルン行きの列車でドイツに入り、最初に下車したのがアーヘン(パリからわずか3時間)でした。本学の提携校があることはもちろん知っていましたが、このときは8世紀創建の宮廷礼拝堂(現在は大聖堂となっている)を見るのが目的だったので、3時間ほど費やした後、その日のうちにケルンに向かいました。

今回の訪問は、建築修復学を専門とするハートヴィック・シュミット教授の招きにより、ハギア・ソフィア大聖堂(6世紀;イスタンブール、トルコ)の調査に関する講義を行うのが目的でした。ハギア・ソフィア大聖堂は、西洋建築史上一つの頂点をなす非常に重要な建築ですが、建設後、地震により3度のドーム崩壊事故を起こし、その都度、崩壊部分が全面的にあるいは部分的に修復され今日に至っております。私は、1990年からこの大聖堂の調査隊に測量の責任者として参加し、これまでにドームを含めた上部構造の写真測量、ドーム支持構造の変形測量などを実施し、精

密な測量図その他のデータを得るとともに、それらを解析することによっていくつかの事実を明らかにしております。今回の講義では、ドームを建設する際にガイドラインとして床に刻まれた施工線(円弧をなす)の解析から、ドームおよびその支持構造の変形量を求め、ドームの創建時の形状を復元するという内容でした。

講義は、シュミット教授の授業「記念建築物の保存修復学」の1コマをいただいて行うというものでした。講義室は建築史図書室の閲覧ホール、床から天井まで周囲を書籍に囲まれた学問的な雰囲気の中で、約50分40人ほどの学生を相手に、英語で講義をしました。日本を発つ前日の午前2時頃までかかって原稿の準備をし(夜中に近くのコンビニでOHPのコピーをとったりしてました)機内でもめずらしく読書をしたり映画を見たりせず原稿の検討をした甲斐あってか、なんとかしゃべることができたように思います。田舎町で高校生に道を聞いても流暢な英語でちゃんと答えが返ってくる国での、下手な英語による講義でしたが、研究の動機や分析の結果などについて質問が出たところを見ると、一応講義のストーリーは分かってもらえたのかなと思っています(シュミット教授は帰りがけに「良くてきた」といってくれました)。



特別講義の開催を告げるポスター

講義に先立って、マーク・ツィンメルマン氏(アーヘン大聖堂修復事務所職員)に大聖堂を案内していただき、修復に関する詳しい説明を聞くことができたことと、カール大帝をはじめとする歴代ドイツ皇帝が700年間にわたって戴冠式をおこなったという玉座を、今回はじめて見る事ができたのは、幸運でした。

17世紀に遡るといって古いお菓子屋さんの2階で、シュミット教授、そして非常にフレンドリーで達者な英語をしゃべる助手の方々と少々騒々しい昼食をとったのも楽しい思い出です。

講義の翌々日は、シュツットガルト大学(建築家のノーマン・フォスターが教授を勤めた)の美術史家ディーター・キンベル教授を訪ねて研究のお話などを聞き、その後、若き日のヘルマン・ヘッセが神学学校生徒として勉強したというマウルブロン修道院とフランスのストラスブール大聖堂を見、翌々日フランクフルトから帰路に就きました。



講義に聞き入る学生達

学生室 第22回アメリカ短期留学

参加者大募集!!

本学では毎年夏期休業を利用して海外の学術提携校(オレゴン大学)における短期留学を21年前から実施しています。この短期留学は、オレゴン大学の学生寮に宿泊して、オレゴン大学での語学研修を受講するものです。これには下記の2大特典があります。

- 1、英語科目以内で単位の認定。
- 2、研修費用(大学、大学後援会からの援助)。

英語研修・大学内の生活等により、英語力のアップはもちろん外国文化に直接触れ、今後の勉強また学生生活の糧となることと思います。参加した学生からは「できれば早い機会に行けば良かった。」「ぜひ、また行きたい。」「この内容でこの参加費なら安い」と言う声が多くです。2000年のスケジュールは下記のとおり予定しています。詳細についてはパンフレット、ガイダンス等でお知らせしますので、ぜひご検討下さいませようお願いいたします。



第22回 短期留学日程表(予定) <アメリカコース> 2000年8月7日(月)~9月6日(水)

Days	Date	Journey	Schedule
1	8/07(Mon.)	Nagoya	(DL)
		Portland	(バス)
		Eugene	U of O
2	8/08(Tue.)	Eugene	オリエンテーション、キャンパスツアー
3	8/09(Wed.)	Eugene	2000 DIT Summer Class Program
5	8/11(Fri.)	Eugene	自由研修
6	8/12(Sat.)	Eugene	小旅行
7	8/13(Sun.)	Eugene	2000 DIT Summer Class Program
8	8/14(Mon.)	Eugene	2000 DIT Summer Class Program
11	8/17(Thu.)		午前:2000 DIT Summer Class Program
12	8/18(Fri.)		午後:ホームステイ
13	8/19(Sat.)		ホームステイ
14	8/20(Sun.)		2000 DIT Summer Class Program
15	8/21(Mon.)	Eugene	2000 DIT Summer Class Program
18	8/24(Thu.)	Eugene	2000 DIT Summer Class Program
19	8/25(Fri.)	Eugene	OB訪問
20	8/26(Sat.)	Eugene	小旅行
21	8/27(Sun.)	Eugene	自由行動
22	8/28(Mon.)	Eugene	2000 DIT Summer Class Program
25	8/31(Thu.)	Eugene	午前:2000 DIT Summer Class Program
26	9/01(Fri.)	Eugene	午後:修了式
27	9/02(Sat.)	Eugene	U of O (バス)
		Portland	(デルタ航空)
		Los Angeles	
28	9/03(Sun.)	Los Angeles	研修旅行
29	9/04(Mon.)	Los Angeles	
30	9/05(Tue.)	Los Angeles	
		Portland	(DL)
		Portland	(DL)
31	9/06(Wed.)	Nagoya	

キャンパスカレンダー

1月

28日(金) 後期定期試験(日曜日、7日、8日除く2月10日まで)
【1/29、2/5の土曜日にも試験日】
31日(月) 2年次生就職ガイダンス

2月

7日(月) 前期入学試験
8日(火) 前期入学試験
16日(水) 後期追試験(18日まで)
24日(木) 試験結果通知書 配布
異議申請受付(25日まで)
成績確認(土日除く3月2日まで)
大学院(博士後期課程)後期入学試験
25日(金) 大学院(修士課程)後期入学試験

3月

17日(金) 学位記授与式 会場:名古屋市民会館(金山)
卒業パーティ 会場:名古屋観光ホテル(伏見)
23日(木) 学修指導(土日除く28日まで)
在学生ガイダンス、健康診断、掲示にて確認

経理室

平成11年度愛知県私立学校(大学) 経常費補助金の交付

愛知県総務部長から平成11年度愛知県私立学校経常費補助金の内示 11月10日付 通知がありました。
経常費補助金535千円

同窓会事務局 澤岡新学長の就任記念講演会の開催

「助走を終えた国際宇宙ステーション計画と大同工業大学の対応」と題して、澤岡新学長による就任記念講演会が、11月6日(土) 大同校舎 号館403 講義室に於いて開催されました。この講演会は、澤岡先生と同窓会員並びに在学生との交流を深め、さらに各同窓会支部の交流を図ることを目的として、あいち支部・豊田支部・三重支部の三支部長の呼びかけにより実現されました。



この講演会の主なめあすは次のとおりで、1 宇宙とは 2 日本の宇宙開発 3 私と宇宙との出会い 4 スペースシャトルを利用する 5 宇宙実験 6 国際宇宙ステーション 7 日本の役割 大同工業大学の役割についてご講演を頂き、さらに、学長が宇宙飛行士になることの夢を持ち続けていること。そして、大同工業大学は、我が国の宇宙・航空産業が集中している中部地区に位置しており、未来の宇宙開発に向けて先導的応用化研究が発信できる大学としていきたいとの抱負が述べられました。

この講演会には、第一期卒業生をはじめとし、在学生、ご父母、教職員の方の多数のご出席を頂き、また、その参加者から多くの質問および活発な討論がなされ、元気の出る講演会のうちに閉会することができました。この講演会にご参加頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。



編集後記

表紙のスケッチは名誉教授の堀井恵彌さんの筆によるものです。今年 年間、キャンパスの風景を描いていただくことにしました。前号で紹介した森を守る不思議な木「ケナフ」が、大同校舎機械工学科実験棟の日当たりの良い東片隅に花を咲かせていました。今年は新キャンパスの一部が完成、「ケナフ」も移植してほしいと精一杯花を咲かせているようでした。

社会交流センター 大同工業大学ホームページ
E-mail: pcci@daido-it.ac.jp http://www.daido-it.ac.jp
FAX: 052-612-5623